

議題2 平成30年度図書館事業計画について

1 図書館運営

(1) 図書館

図書館資料の閲覧、貸出業務、読書相談、子ども読書活動推進計画に基づく各種読書啓発事業、障がい者図書サービス事業等、総合的な図書館事業を進める。

(2) 高蔵寺まなびと交流センター図書館及び9図書室との連携

定期的に窓口における問題点や改善事例等の情報交換を行い、共にサービスの向上に努める。

(3) 巡回業務

利用者の利便性を図るため、図書館や各図書室のどこでも返却や貸出ができるように図書資料の巡回搬送業務を実施する。

(4) 図書館ホームページ

図書館の施設案内、行事案内、資料検索、インターネット予約サービス、他の図書館とのリンク、小中学校のHPにTC通信のバナー掲載などのサービスを提供する。

2 資料の整備

(1) 図書資料及び紙芝居の整備

図書資料 16,700冊購入予定

内 訳	図書館	8,000冊
	高蔵寺まなびと交流センター図書館	4,000冊
	9図書室	4,700冊

紙芝居 200巻購入予定

(2) その他の資料の配置

新聞

内 訳	図書館	30紙
	高蔵寺まなびと交流センター図書館	11紙

雑誌

内 訳	図書館	238誌
	高蔵寺まなびと交流センター図書館	96誌

3 読書啓発事業

(1) 読書手帳の配布

読書の楽しさを知るきっかけづくりとして読書手帳を配布し、自分の読書履歴を目に見えるように記載することで、読書意欲を高める。

(2) ブックスタート

乳児期からの読書習慣の形成と良好な親子関係の育成を目的に、4か月児健康診査受診時に合わせて絵本とブックスタートの主旨を記した小冊子等を配布し、乳児の保護者に直接絵本の大切さやその役割を伝える。

(3) 赤ちゃんのためのおはなし会

乳児と保護者を対象に絵本の読み聞かせや親子のふれあい遊び、乳児向け絵本の紹介を内容としたおはなし会を図書館（第2・4金曜日）と西部ふれあいセンター（第3金曜日）で開催する。

(4) 紙芝居とお話を聞く会

幼児・児童を対象に、図書館及び図書室でボランティア団体の協力により、定期的に実施する。

(5) すくすく読み聞かせ会

1歳6か月から未就園の幼児を対象に、月1回、図書館児童室内「おはなしのへや」で絵本や紙芝居の読み聞かせを実施する。

(6) 読書週間の行事

小学生を対象にした4月の「こどもの読書週間」と10月の「読書週間」にあわせて「図書館探検」、「腹話術と楽しい手品」等の読書啓発事業を実施する。

(7) 図書館フェスタ

子どもたちに本の楽しさを伝えるため、図書館ボランティアとの協働により開催する。

(8) 小中学校読書感想文コンクール

読書によって得た感想を文章表現することにより、読書力・表現力・創造力を養うために実施する。併せて、読書感想文書き方教室を開催する。

(9) 小中学校読書感想画コンクール

読書によって得た感動を絵画表現することにより、読書力・表現力・創造力を養うために実施する。併せて、優良作品の展示を行う。

4 障がい者サービス事業

(1) 図書等の無料郵送貸出

障がい者等で来館することが著しく困難な人を対象に図書の無料郵送貸出をする。

(2) 対面読書

視覚障がい者を対象に、希望する図書館資料を図書館において個別に実施する。

(3) 録音図書・点字図書の製作

視覚障がい者用の録音図書・点字図書を製作する。

(4) 音訳技術講習会及び音訳デジタル録音技術講習会

音訳者養成のための講習会を実施する。

5 図書館ボランティアとの協働

図書館ボランティアと連携しながら、返却図書の排架、書架整理、デジタル図書・点字図書の製作、絵本の読み聞かせ等を実施する。

6 その他

- ・企画展示
- ・テーマ図書

時節の話題を中心にテーマを選定し、来館者に対する読書啓発を目的とした展示を複数回開催する。

- ・ティーンズコーナーの充実

ティーンズ向けの図書等の充実を図るため、これまで設置していたヤングアダルトコーナー（YAコーナー）をティーンズコーナー（TC）に名称変更し、利用者のニーズに合った図書の情報を収集のうえ、ティーンズ向きの資料の積極的な選定・収集を行い、関連資料を設置する。

- ・図書館年報の発行 年1回
- ・図書館だよりの発行 年4回
- ・児童室だよりの発行 年8回
- ・TC（ティーンズコーナー）通信の発行 年6回